お白石持行事報告

あの日を忘れない、子どもに伝えたい、伊勢の民俗行事「エンヤー」の声が響いた「お白石持」の夏。

7月26日から9月1日。記録的な猛暑となった約1ヶ月をかけて市内77団、市民総出のお白石持行事として、約23万人が参加しました。ごく一部ではございますが、奉献、奉曳の記録写真をもって報告とさせていただきます。

内宮　新宮奉献

外宮奉献　ソリ曳

外宮奉献　お白石

祭主様とともに奉献始

外宮奉献（ソリ曳）表門到着

外宮奉献　陸曳

奉献始式（7月26日）

外宮奉献　出発地（浦口町）

外宮奉献　エンヤ曳

内宮奉献　川曳（練り）

内宮奉献 川曳

内宮奉献　宇治橋下からエンヤ曳

外宮奉献　北御門へのエンヤ曳

内宮奉献　古市出発地

内宮奉献　浦田出発地

内宮奉献　県道からおはらいまちへ

内宮奉献　おはらいまち

内宮奉献　牛谷坂

奉献納式（9月1日）

外宮奉献　表門 到着

内宮　特別神領民　塩竈神社自車奉曳

内宮奉献　おはらいまち（練り）

内宮奉献　宇治橋前到着

上り参宮（9月20日）

外宮奉献　雨の奉曳

練り

踊りの披露

特別神領民奉献受入に市民スタッフ、のべ1万人。

全国の伊勢神宮崇敬者に奉献をしていただく特別神領民として、奉献団による民俗行事と併行して受入実行委員会をつくり、奉曳車を別立てして実施。今回7万3千人の特別神領民にご参加いただきました。

伊勢のまちは昔から、お伊勢さんに来た人を迎え、もてなし、成り立ってきた町です。その伝統を継承し、「ご遷宮のために、伊勢に住む一人ひとりができること」として集結し、市民参加でつくられた受入実行委員会では、特別神領民の皆様が無事に奉献していただくために、もてなし接遇全般、1日2台の奉曳車の運行、誘導・救護、熱中症やアクシデントのサポートなどの体制を整え、準備を重ねました。期間中の20日間、1日約500人の市民スタッフが参加。のべ1万人近い方がボランティアとしてご奉仕にあたりました。

御遷宮対策委員会の関係機関や、地域の市民グループ、一般募集や市役所職員の個人ボランティア、奉献団有志、救護救急等を担当する団体、その他の企業・団体、多くのご協力をいただき実施することができ、特別神領民にたいへん喜んでいただきました。改めてここに深く感謝致します。